

「O-SEP_KCL_2020」が開催されました

2021年2月6日(土)、日本時間19時より1時間30分、学術交流協定を締結しているイギリスのキングス・カレッジ・ロンドン歯学部(King's College London Faculty of Dentistry, Oral & Craniofacial Sciences、以下 KCL)の学生と本学の歯学部生により、「O-SEP_KCL_2020」(歯学部国際交流委員会主催)を開催いたしました。

この「O-SEP」は、Online Students' Exchange Program の略で、COVID-19 によるコロナ禍のため留学を含め海外渡航ができない中、渡航に代わる新たな国際交流の取組として歯学部国際交流委員会により企画されました。第二回目となる今回から、申請されたプログラム活動の実施状況に対して、歯学部国際交流委員会が一律の活動ポイント(AP: Activity Points)を設定したプログラムとすることとなり、「デンタルエクスターンシップ」などの科目単位付与ができるようになりました。

今回の交流は、以前より学生交流や研究交流などで親密な関係にある英国の KCL とウェブ会議システムを用いての開催となりました。

歯学部全体で幅広く募集を行ったところ、本学からは学科や学年の壁を越えて12名(1年生～5年生)の参加があり、KCL からは13名の参加がありました。また、教員も本学から10名、KCL から15名、さらに在英国日本大使館の一等書記官の方にもご参加いただきました。事前学習として、両校の教員及び学生が今回の交流ために作成したビデオ動画の視聴や、互いの国における歯学教育についての知識の習得、また当日ディスカッションを行うテーマについての意見交換を行い、当日に臨みました。当日は KCL の教員から事前レクチャーを受け、その後学生は3グループ、教員は2グループに分かれて事前に意見交換を行ったテーマについてディスカッションを行いました。緊張しながらも会話を続けるうちに徐々に打ち解け、笑顔を交えながら盛んな意見交換の場となりました。

コロナ禍において活動範囲が限られる中で、海外へ視野を広げ、苦しい状況を経験しながら前へ進む両校の思いを語り合う貴重な体験となりました。



プログラムの様子